

切さを感じるようになります。



利用者の中には、今年も調理職員が心を込めてひと品ひと品手作りの料理を提供しました。色とりどりのおかずが入った折り詰め、混ぜご飯とすまし汁をいただきました。



会食メニューは、今年も調理職員が心を込めてひと品ひと品手作りの料理を提供しました。色とりどりのおかずが入った折り詰め、混ぜご飯とすまし汁をいただきました。

会食メニューは、今年も調理職員が心を込めてひと品ひと品手作りの料理を提供しました。色とりどりのおかずが入った折り詰め、混ぜご飯とすまし汁をいただきました。



今年は一昨日七月十三日に五十九年目の開所記念を挙行しました。七月は炎暑しのぎがたい日が長く続きましたが、利用者は皆はつらつと、楽しく会食しながら節目となる記念日をお祝いしました。

開所記念 (七月十三日)

# かしわ荘だより

## 第47号

社会福祉法人  
柏崎刈羽福祉事業協会  
救護施設かしわ荘  
柏崎市大字畔屋 194 番地 1  
電話 24-4101  
FAX 24-4102

<http://www.kashikari-fukushi.c>

om

年2回発行

また、午後からは、カラオケクラブの講師である和みさき様による歌謡曲のコンサートが開かれました。利用者の中には「カラオケの先生が来るから聞きたいよ」と嬉しそうに足を運ばれた方もおられました。美しい歌声が会場いっぱいに響き渡り、記念日に花を添えていただきました。



## かしわ荘夏祭り花火大会 (八月四日)

『かしわ荘夏祭り花火大会』は、当施設のビッグイベントの一つです。連日容赦なく照りつける太陽。この日も同じく暑い日でしたが、体力面での心配をよそに利用者はパワー全開で最後までお祭りを楽しめました。

また、ボランティアを含む地域の方々からは百人以上のご参加をいただき、この夏まつりを盛り上げてくださいました。多くの皆さまのお力あり、利用者のワクワク感も最高潮。そして盆踊りの要となるお囃子も、畔屋青年会の若き精鋭方々が美



しい歌声と漲る活気で『三階節』、『柏崎基句』、『柏崎おけさ』を演奏してくださいました。地域の方も利用者も自慢の浴衣姿や仮装姿で華やかに。ボランティアの方々からサポートを受けながら一緒に踊ったひと時は最高の思い出です。屋台では飲み物を始め、たこ焼き、唐揚げ、粗挽きフランク等を提供し好評いただけました。そして、今年も花火大会でフィナーレを飾り、二百発を超える花火を夜空へ打ち上げました。司会者の「1、2、3、GO」のかけ声で『噴出』、『打ち上げ』、『連発』花火が交互に上がり夏の夜空を鮮やかに照らしてくれました。



松之山温泉 日帰り旅行 (七月二十七日)



七月二十七日に利用者七名・職員七名で松之山温泉「白川屋」へ日帰り旅行に行ってきた。当日は晴天の中、綺麗な景色を見て「夏を感じながら出かけることができました。」

途中、休憩で寄った仙田の道の駅では、大きなスイカや白瓜などが売られており、夏ならではの野菜を見て、「美味しそう」「食べたいなー」と会話が弾みました。

旅館に着き、白川屋名物の「おっぱい風呂」に入り、ゆっくりと温泉を堪能する事ができました。御食事も、ポリウムたっぷりメニューで、利用者の皆さん(職員も)は、とても喜んでいました。食後には、皆さんでカラオケを楽しみ、沢山の笑い笑顔が溢れました。施設へ帰る道中では松代の道の駅へ寄り、お土産を購入しました。一日を通して、晴天に恵まれ、夏の暑い時期ではありませんが、沢山の汗を流しながら、沢山の思い出を作る事が出来ました。皆さまの笑顔・笑いに溢れた旅行になりました。



利用者と職員でカラオケ

瀬波温泉 一泊旅行 (九月二十六日～二十七日)

今年度も利用者が心待ちにしていた一泊旅行へ行って来ました。秋晴れの心地よい天候の中、バスは瀬波温泉に向け出発、宿泊先は『夕映えの宿 汐美荘』。車内では「海を眺めながらの温泉が楽しみ」などの会話が聞かれていました。

バスは村上市に入り旅館へ向かう道中で昼食をとり、鮭の歴史記念館である『イヨボヤ会館』や村上大祭の山車が展示されている『おしゃぎり会館』に立ち寄り村上市の鮭との歴史や自然に触れ、利用者は興味深そうに見学をされ楽しまれている様子でした。

旅館に到着すると、夕食前に日本海の景色を眺めながらゆったりと温泉に浸り旅の疲れを癒し、夕食では海の幸、山の幸ふんだんのおいしい食事をいただきながら、カラオケを楽しみました。



翌日は、岩船鮮魚センター・新潟せんべい王国に立ち寄りそれぞれに旅の思い出にお土産を買いながら、新潟ふるさと村にて昼食をとり帰路につきました。

あつという間の一泊

二日の旅行でしたが、最後まで利用者の表情が穏やかで、はつらつした姿を見ることができ、利用者それぞれが良い思い出になったことと思います。

オムツのあて方講習会 (九月二十六日)



日々の業務でオムツを使用しておりますが、この度、オムツメーカーの野呂様より、オムツのあて方について実践講習をしていただきました。「なるほど」とすぐに実践したくなるような新しい発見が多くあり、ベッド上での交換、排泄介助での交換、さらには陰部洗浄方法など、各場面に適した関わりを教えてくださいました。それぞれ習ったポイントを思い出し、職員間でも検証しながらワンランクアップの支援をめざし取り組んでいます。



季節感ある手芸作品を玄関に・・・



玄関脇の壁に

かしわ荘の正面玄関には、いつも季節にちなんだ柄の手芸作品が飾られています。当法人の高橋理事長より提供されたもので、今の時期はハロウィーンの絵になっています。柔らかいタッチの作品にいつも心なごまされております。



これから迎える冬の時期、今後はどんな作品に替わるのか楽しみです。